

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価に関する報告書（令和5年度対象）

【概要版】

点検・評価の基本的な考え方

趣旨

○目的 効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たす
○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条
○取扱 報告書を議会に提出・市民公表

方法

○帯広市教育基本計画の「個別施策」ごとに実施
○取り組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価

対象

○令和5年度に実施した取り組み

学識経験者の知見の活用

○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けて活用を図る

点検・評価の結果

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成

－ 1 ふるさと教育の推進 －

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	44.7	39.4	48.8	49.6	73.1		60.0以上
中学校	39.1	38.9	41.1	42.9	65.9		55.0以上



ふるさと給食で提供した
「十勝野菜のオベリベリ煮込み」

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○小中義務教育学校9年間を通して、食や福祉、文化等、様々な視点から帯広を知るための授業である「おびひろ市民学」において、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育を推進 ○各種教育施設において、展示や各講座、スポーツ体験等を通した学びの機会を提供	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、新たな講座（プログラム）の開発を進める ○地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する
食を通じたふるさと理解の促進	○「学校給食週間」等における、地場産食材を活用した給食の提供を通じ、地域の食や産業への理解を促進 ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」の実施による、食を通じたふるさと理解の促進	○引き続き、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供等を通じた地域の食や産業への理解促進を図る ○栄養教諭や食育指導専門員による、「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解を進める
地域社会に参画する意識の醸成	○体験活動やリーダー研修を通し、地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を実施 ○まちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりのため、地域における自主防災活動への参加や活動の活性化を促す親子防災講座を実施	○各団体等と連携しながら、体験活動やリーダー研修を通じた、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける教育を進めるほか、親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加意識を高める
環境教育の推進	○環境破壊や自然災害について、実社会との結びつきを意識した教育を実施 ○児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供	○子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設ける ○帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を設ける

－ 2 職業観の育成 －

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	93.6	93.8	95.6	93.8	93.8		100.0
中学校	94.6	95.6	95.5	96.9	95.5		100.0



出展企業の指導のもと
職業体験をする様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校におけるキャリア教育の推進	○多様な職業の理解促進のため、地元企業等と連携し、外部講師を招きながら体験学習や講話等を行う授業を実施 ○一人一台端末を活用したオンライン工場見学やキャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施	○社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、各学校の主体的な講座の選択を促進 ○キャリア教育の好事例について、学校間連携が図られるよう情報共有を進める
職業体験機会の充実	○美容師や銀行員、スーパー店員など、19の職業体験ができる「おびひろキッスタウン」を地域の企業や官公庁の協力のもと実施	○関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供するほか、各教育施設でのインターンシップを継続する

－ 3 情報教育の推進 －

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	87.4	81.0	—	—	86.0		90.0以上
中学校	73.8	79.0	—	—	78.0		80.0以上



中学校でプログラミング教育の
アプリケーションを活用する様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
情報活用能力の育成	○各学校の教育課程編成において、一人一台端末等のICTを活用した学習活動を実施したほか、教員のICTを活用した指導力の向上のため、おびGIGA支援員派遣による校内研修を実施	○一人一台端末の日常的な活用の充実に向けた各学校への指導・助言、国や道の通知等の情報発信に取り組むほか、地元企業等と連携したICTを活用した教育を進める
情報モラルの育成	○著作権やプライバシーの保護等についての理解を促進するよう教育課程を編成。関係機関との連携による講演会の開催や販売店への立入調査などを実施	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等の啓発を行うほか、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動を進める
プログラミング教育の推進	○発達段階に応じたプログラム体験の実施等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力を育成	○一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、プログラミングを学習するアプリを全中学校に導入し、より実践的な授業を展開する

－ 4 国際理解教育の推進 －

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H29～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	66.3	—	—	—	75.0		75.0以上
中学校	64.4	—	—	—	70.0		75.0以上



「おびひろ市民学」において、
JICA 帯広を訪問し学習する様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を実施 ○長期休業期間でのサポート学習等で、児童生徒が外国語に触れる機会を充実させたほか、国際交流員等を効果的に活用した体験的なコミュニケーション活動を実施	○小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に取り組む ○外国語指導講師等との触れ合いを通じ、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○外国語指導講師や市の国際交流員との交流、JICA 帯広の授業等を通し、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供	○長期休業期間等を通じた外国語指導講師による外国語のサポート学習の実施や、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進める

－ 5 南商業高等学校における教育の推進 －

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.7	15.7	166	17.6	33.3		50.0以上



全商実務検定3冠以上
取得数全道一

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習により、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合82.4％（道内1位）達成	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導を進めるほか、多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む
地域経済に貢献する人材の育成	○マナー講習会の開催、インターンシップ、各種の模擬試験の実施等に取り組んだ結果、就職・進学ともに内定率100％達成	○様々な事業所と連携したインターンシップのほか、進路指導や模擬面接等の即戦力となる人材育成の充実に取り組む
地域社会との連携・協働による教育の推進	○学校評価を活用し、学校の運営状況等について改善を図る取り組みを推進。学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を図るため学校運営協議会を開催	○学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくほか、学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動の改善を図る
地域とつながる活動の推進	○地域住民に学習機会を提供し、地域と学校のつながりを促進するため、学校開放講座として、全国大会で優勝したクッキング部を講師とした料理教室の開催や、ボランティア活動を実施	○学校開放講座は、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供と、学校の理解促進を図る ○ボランティア活動は、安全に活動に参加できるよう、主催者等と連携を図る

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

－ 6 学びを生かす力の育成 －

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H30～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	75.8	71.7	74.8	76.1	74.5		85.0以上
中学校	79.8	75.7	85.2	81.9	84.7		85.0以上



学校教育指導訪問で授業を観察する様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校における授業の工夫・改善	〇一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適化された学びや協働的な学びを促進	〇一人一台端末をより主体的に活用する授業を通じ、「子ども」が主語となる授業に取り組む
学習活動の支援	〇常時ダウンロード可能な小中学生向け教材の教育研究所ホームページへの掲載や、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供 〇学級閉鎖等により、登校ができない児童生徒の学びを保障するためメタバース空間を活用した学びを推進	〇一人一台端末で活用できる教材作りや「ぶっくーる便」の計画的な入替による児童生徒にとって魅力的な図書の提供 〇不登校児童生徒への学びの保障等、メタバース空間をはじめとするオンラインを活用した学びの保障の充実を進める
教育課程の工夫・改善	〇学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成行事の方向性等の共有を図ったほか、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として学力向上や体力向上等の課題に向けたエリア共通の取組の計画をはじめとする小中連携を推進	〇目標の実現に必要な教育の内容等を、横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するため「教育課程編成の手引き」の見直しを実施
学力の分析・検証	〇CORT 学力検査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中義務教育学校に配付し、各学校における授業改善につなげ、学力向上に寄与	〇学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析することで、指導方法の改善につながる事項を明らかにし、学校に還元する
体験的・問題解決的学習の推進	〇児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高める体験学習を進めるとともに、関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を実施	〇図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する

－ 7 豊かな人間性と創造性の育成 －

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	69.7	70.7	76.6	78.3	79.7		85.0以上
中学校	71.1	79.5	78.7	81.7	83.6		85.0以上



授業改善の方策について意見交流が行われている様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
道徳教育の充実	〇公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、考え・議論する道徳に向けた授業改善を推進したほか、道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを推進	〇地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等により道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性の育成を進める
読書活動の推進	〇読書活動への興味関心の向上のため、図書ボランティアによる読み聞かせ等を実施したほか、各種ブックリストの作成、電子書籍の提供を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを実施	〇図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む 〇「語り手育成講習会」等により新規ボランティアの養成を進める
文化芸術活動の推進	〇子どもたちの感性や創造力を育むため、各授業等で多様な文化芸術の体験的な学習を進めたほか、ICTを活用した情操教育を実施	〇演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供や、より効果的な学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進める
体験活動の推進	〇ICTを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じた体験活動機会を提供したほか、地域の特色を生かした体験活動を推進し、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供	〇ICTを活用する等、空間的・時間的な工夫に継続して取り組むとともに、各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供する

－ 8 健やかな体の育成 －

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	94.0	91.0	92.1	91.7	92.5		100.0
中学校	93.6	94.0	92.9	91.1	89.1		100.0
指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H26～H30平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	88.5	—	86.1	89.6	84.8		95.0以上
中学校	85.9	—	85.9	90.1	81.1		90.0以上



専門家による出前授業の実施

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
体力・運動能力の向上	〇過去の全国体力・運動能力等調査の結果検証を踏まえた授業への反映や、スポーツ少年団や指導員への支援を実施	〇体力向上推進プロジェクトチームによる各学校への派遣指導を通じた授業改善等進めるほか、指導者の育成による、安心して少年団に加入できる環境づくりに取り組む
安全・安心な学校給食の提供	〇安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供のほか、アレルギーを持つ児童生徒向けに学校給食食物アレルギー対応メニューに基づき取り組みを実施	〇適切な栄養バランスを考慮した学校給食を提供するとともに、アレルギー情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む
正しい「食」への理解の推進	〇「朝食レシビコンテスト」を実施し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図ったほか、図書館常設の食文化コーナーにて食に関する図書を展示	〇食育通信等の配付や、帯広市食育推進部会による家族で朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を開催し、図書館では食育月間に合わせたイベントを開催
健康教育・健康保持	〇関係団体と連携した学校保健委員会の設置のほか、学校の教育活動全体を通じたがん教育や体育・健康に関する指導を実施 〇衛生用品の購入等による学校環境の整備	〇子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進めるほか、各学校における学びの機会の確保を図る

－ 9 教員の資質・能力の向上 －

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	82.6	83.1	84.8	83.8	81.3		90.0以上
中学校	74.8	71.2	79.4	79.0	78.0		80.0以上



エキスパート教職員実務研修の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教員の指導力の向上	〇指導主事による学校教育指導訪問での、管理職や教職員への指導・助言。学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワークショップ講座や、GiGA スクールの先進地から講師を招いた研修の実施、および GiGA 支援員による支援	〇学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じた教職員が連携した授業改善に向けた取り組みの充実や、研修受講率の向上を図るため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上に繋がる講座の企画に取り組む
教職員の働き方改革の推進	〇教職員の勤務状況の改善等に向け、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みによる教職員の時間外在校等時間は減少 〇校務支援システムの本格運用を開始し、校務の効率化を図ったほか、中学校全校に留守番電話を導入し、勤務時間外の電話対応による教職員の負担を軽減	〇ICTを活用した校務の効率化や学校行事の見直しなど、引き続き働き方改革に取り組む 〇教職員の業務効率化のため導入した、校務支援システムの活用促進や操作の定着を図る

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

－ 10 地域との連携・協働の推進 －

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	58.2	50.4	47.8	46.3	50.0		70.0以上
中学校	35.2	34.3	35.1	29.3	31.7		50.0以上



夏祭りの様子（つつじが丘小学校）

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域における支援体制の充実	〇コミュニティ・スクール通信の発行や他校の好事例を紹介 〇帯広市学校・家庭・地域協議会議における意見交換や地域コーディネーター向けの研修会の実施のほか、基金を活用した団体同士の連携した活動を支援	〇地域との熟議や協働による取り組みを進めるほか、指導主事による全国の好事例等の情報提供を進める 〇学校と地域との連携した活動や学校運営協議会委員の研修等のほか、基金を活用したボランティア団体同士の連携した活動の拡大を図る
子どもの安全対策の充実	〇登下校時の見守り活動のほか、災害情報や不審者情報、熱中症関連の保護者等への速やかな情報提供のため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用 〇通学路危険箇所点検を行い、点検結果を公表したほか、子ども1110番の家を981箇所を設置	〇地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める 〇危険箇所の合同点検を実施するなど通学路の安全確保を行うほか、登録者の確保により「子ども1110番の家」事業の拡充を図る
地域主体の体験活動への支援	〇子どもの居場所づくり事業における、異世代交流や多様な体験活動を通じた豊かな人間性や社会性の涵養促進	〇子どもの居場所づくり事業を担うボランティア登録者数や参加児童数等が減少していることから、実施方法やPR活動を工夫し、事業を継続する

1 1 家庭教育への支援

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
小学校	77.8	R2	R3	R4	R5	R6	85.0以上
中学校	76.6	73.2	—	—	82.0	—	85.0以上



相談員会議で研修を深める様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
教育相談の充実	〇こころの教育相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応	〇教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進めるとともに、相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図る
家庭教育力向上のための支援	〇学校において起床や食事の摂取状況等の記録シートを配布し家庭への助言を実施 〇「食育通信」による児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣等を啓発。乳幼児健診時のブックリストの配布による保護者への啓発活動を推進	〇学校では子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向け、「おびひろ市民学」を中核とした消費者教育、人権教育等様々な視点から啓発を進める 〇家庭に向けて「食育通信」の配布や、図書館における絵本セットの内容の充実等の子育て世帯の支援を進める
P T Aとの連携の促進	〇各学校の P T A 間における情報交換の実施や、帯広市 P T A 連合会への補助金の支出や P T A による各種事業の後援等の P T A 活動への支援	〇各校 P T A や帯広市 P T A 連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続する

1 2 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
小学校	19.2	R2	R3	R4	R5	R6	100.0
中学校	21.4	19.2	19.2	32.0	30.8	—	100.0



プロジェクトチーム会議の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校間の連携の促進	〇帯広市エリア・ファミリー構想に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校でそれぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有 〇エリア・ファミリーの代表者が集まり、学力向上、体力向上、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取り組みを推進	〇小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める 〇幼保・小・中における教育実践への相互理解促進のため、各エリア内の授業交流や学校の教員で構成される課題ごとの部会において、教育課題の共有や取組の共通化を図る等、学校種間の連携強化を進める
通学区域の見直しの実施	〇帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づく取り組みと併せて、通学区域の見直しの検討	〇通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性や分散進学 of 解消等に配慮し、通学区域の見直しを進める

基本施策 4 安全・安心な教育環境の整備

1 3 誰もが安心して学べる教育の推進

成果指標の状況							
指標名	【いじめは絶対に許されない】と考える児童生徒の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 (R11)
小学校	96.2	R2	R3	R4	R5	R6	100.0
中学校	94.2	97.5	96.4	96.8	96.0	—	100.0



仮想空間に教室開設する「ひろひろチョイス」の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
いじめ・非行の防止	〇いじめや人権について皆で考え議論する場を設けたほか、市内小中学生いじめ・非行防止合同サミットの開催や、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施	〇いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学べる環境の整備のほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む
不登校への対応	〇不登校傾向の子どもや保護者からの相談対応や助言等のほか、教育支援センターの運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を推進	〇教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進めるほか、社会的自立を支援できるよう、メタバース空間を活用した「ひろひろチョイス」を創設し、幅広いニーズに対応
教育機会の確保	〇経済的理由による就学が困難な児童生徒の保護者へ就学援助費を支給。大学生等への奨学金による支援 〇農村地域の遠距離通学児童生徒向けにスクールバスを運行 〇市内高等学校の間口確保に向け、「帯広市高等学校間口対策協議会」へ出席	〇他地域の事例を参考にしながら、就学や通学に関わる経済的な支援を進める 〇スクールバス安定運用のため車両更新や運転手確保について検討する 〇帯広市高等学校間口対策協議会を通じた情報収集や要望活動を行う
一人ひとりに応じた教育の充実	〇特別支援学級の設置やアイヌ子弟の就学支援のため扶助費を支給。支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備。農村地域の小規模特認校制度の運用	〇教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進めるほか、教職員向けの研修により、今日的な課題である L G B T 等への理解促進を図る

1 4 安全で充実した教育環境の整備

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値 【H30】	実績値					目標値 (R11)
—	0	R2	R3	R4	R5	R6	9
—	0	0	1	1	1	—	9



大空小学校 解体写真

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学校施設の整備	〇旧大空小学校の解体工事、小学校のエアコン設置に向けた事前調査のほか、各学校における各種工事及び個別改修	〇計画的かつ継続的な修繕による学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善を行い、教育環境の整備を進める
学習環境の整備	〇学校 ICT ヘルプデスクを通じた一人一台端末などの円滑な維持管理を行ったほか、小学校1・2年生 21 校分の机・椅子を更新	〇児童生徒が主体的に学ぶ力を育成するため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進める
学校適正規模確保の推進	〇帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画に基づき、学校の小規模化の影響がより顕著に生ずる可能性のある学校を対象に、近隣校との交流授業等を実施	〇児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供を行うほか、学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進める

基本施策 5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

1 5 学習活動の促進

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
—	95.5	R2	R3	R4	R5	R6	100.0
—	95.5	96.9	93.5	90.8	94.0	—	100.0



朗読劇「日本の名作・世界の名作」の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
学習機会や情報の提供	〇市民大学講座の開催や、生涯学習情報誌「まなびや」等を発行 〇図書館では子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催 〇百年記念館では博物館講座や郷土学習見学会を開催 〇動物園では SNS を活用した情報発信のほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施	〇市民大学講座のオンライン配信や開催時間の工夫のほか、生涯学習情報誌により情報提供に努める 〇図書館では他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に厚みのある事業に取り組む 〇百年記念館では博物館関係機関・施設等との連携を図りながら効率的・効果的な講座の開催、展示の企画に取り組む 〇動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実を図る

1 6 学習を通じたまちづくり

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
—	26.3	R2	R3	R4	R5	R6	31.0以上
—	26.3	21.5	25.4	26.2	28.5	—	31.0以上



学生ボランティアによる「モルモットとのふれあい」の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
自主的な学習活動の支援	〇図書館では読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施 〇百年記念館、動物園においてボランティアと連携した企画展や活動機会を提供 〇生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」開催	〇帯広図書館友の会の役員との情報交換等により、相互連携を深める 〇百年記念館、動物園のボランティア人員の充実に向けた支援を継続する 〇生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う様々な活動の支援を継続する
地域の人材の育成・活用	〇生涯学習指導者登録制度により、様々な分野において活躍する人物を指導者として登録	〇生涯学習指導者登録制度の認知度や利活用頻度を高めるため、市ホームページや SNS を活用して情報発信を強化する

1 7 社会教育施設の整備・管理運営

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
—	96.5	R2	R3	R4	R5	R6	100
—	96.5	97.3	92.3	91.0	94.1	—	100



リアルジオラマ（旧帯広駅前）

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	〇老朽化が進んでいるとかちプラザ等の社会教育施設の修繕や設備の更新を実施し、動物園では、馬ふれあい舎やビジターセンター等を整備	〇公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	〇各社会教育施設において、講座の開催や学習機会を提供	〇指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組むほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営を進める

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	64.7	45.1	43.4	51.1	56.1		65.0以上



第42回おびひろ市民芸術祭でのステージ舞踊の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
市民文化芸術活動の促進	○日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や地元出身・在住の新進若手演奏家による「新人演奏会」を開催。とかちジュニア文芸第14号を発刊 ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を実施	○市民の発表機会を提供する事業の継続のほか、とかちジュニア文芸文章教室の開催により子どもたちの創作意欲を高め、読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動支援のため、学校施設開放事業を継続する
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用した文化団体の情報提供 ○文化賞及び文化活動功労賞にて2個人の表彰のほか、事業補助による文化団体の活動を支援	○文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報の提供を継続する ○文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う
文化芸術の鑑賞機会の提供	○市民良質な文化芸術鑑賞機会を提供するため、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施 ○道立帯広美術館の特別企画展「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界」に参画し、市民に芸術の鑑賞機会を提供	○市民が文化芸術に直接触れる機会を提供 ○芸術鑑賞機会の提供のため、道立帯広美術館の特別企画展への参画を継続する

19 文化資源の継承・活用

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	2,161	1,728	1,638	2,021	1,852		2,269以上



十勝鉄道機関車4号及び客車コハ23号公開の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の管理、及び史跡標示板の修繕の実施。重要文化財「八千代A遺跡出土品」を活用した学校用教材を作成。びらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車4号、客車コハ23号を公開	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行うほか、文化財の活用事業を継続する。「八千代A遺跡出土品」の適切な保存及び積極的な活用のため、計画的な修理・美装化を実施する
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウボボ保存会伝承活動の補助のほか、古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施	○帯広カムイトウウボボ保存会伝承活動の補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存伝承を進める
市史資料収集・保存	○令和4年度の出来事をまとめた「年史報告書」の作成、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施	○「年史報告書」作成の継続のほか、令和14年度の帯広市開拓150年・市制施行100年の周年事業を見据えて資料収集事業に取り組む

20 文化施設の整備・管理運営

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30平均】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	83.0	84.3	87.6	97.0	97.0		88.0以上



更新後の市民文化ホール小ホール客席

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保及び施設機能の発揮のため、修繕等の施設の機能維持向上に向けた施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営を実施	○施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にあるが、安定的な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

21 多様なスポーツ活動の促進

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における市広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1平均】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	21.0	18.1	17.6	16.5	15.1		22.0以上



スケートキングダム（小中学生）の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
スポーツの振興	○スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行ったほか、スポーツの普及・振興に貢献した個人・団体を表彰。各種全国・全道大会のほか、合宿・プロスポーツ等の誘致や開催支援を通して、市民へスポーツ観戦機会を提供	○競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○スポーツ少年団本部及び帯広市スポーツ協会への支援やスポーツ少年団指導者育成を支援	○各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりを進める
スケート競技の振興	○スピードスケート競技の裾野拡大を目的としたほっとドリームプロジェクトの実施や、地域応援体制の整備等を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興を推進	○スピードスケートをはじめとした各種競技スポーツの普及や、競技者人口の拡大及び競技力の向上に取り組むほか、ほっとドリームプロジェクト等を通して、スケート競技の普及促進に取り組む

22 スポーツによる活力のあるまちづくり

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	82.4	82.0	90.1	95.9	94.0		87.0以上



アーチェリー競技の様子

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
地域スポーツの振興	○スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を56回開催。地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営を支援したほか、スポーツフェスティバルを開催 ○市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめるよう、学校施設開放を実施	○総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室の開催を通じて、市民が気軽にスポーツに親しむ機会づくりに取り組む ○市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校施設のスポーツ開放に取り組む
スポーツ大会合宿等誘致	○競技団体との連携による各種国際・全国・全道大会やプロスポーツ等の誘致及び開催支援を実施。フードバレーとかちマラソン大会の実地開催	○各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進める

23 スポーツ施設の整備・管理運営

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	77.3	82.7	80.4	93.9	96.8		82.0以上



特定天井対策・照明LED化改修工事

主な取り組み	取り組みの成果	課題・今後の方向性
計画的な施設整備の実施	○利用者の安全性確保と施設の機能を発揮するため、各種改修工事等の施設整備を実施	○公共施設マネジメント計画に基づき、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む
適切な管理運営の推進	○民間活力を生かした指定管理者制度のほか、パークゴルフ場では指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営を実施	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む